

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

平成30年10月4日（木）

### 2 確認箇所

K2タンクエリア（高性能多核種除去設備処理済水移送配管）

### 3 確認項目

高性能多核種除去設備処理済水移送配管の追設状況

### 4 確認結果の概要

ストロンチウム処理水<sup>※</sup>は、現在、既設多核種除去設備及び増設多核種除去設備により処理されている。これらの設備の稼働率が低下した場合に備えて高性能多核種除去設備においても処理可能な状態を確立するため、高性能多核種除去設備の処理済水を溶接型タンクに移送する配管を追設する工事が、3箇所のタンクエリア付近（J2、K2、K4タンクエリア）で計画されていることから、今回、K2タンクエリア付近における進捗状況を確認した。

※汚染水に含まれる放射性物質の大部分を占めるセシウムとストロンチウムをセシウム吸着装置等で取り除いた水を「ストロンチウム処理水」という。ストロンチウム処理水は、トリチウム以外の放射性物質を取り除くため、多核種除去設備によりさらに処理されている。

- ・高性能多核種除去設備処理済水移送配管の追設は、既設の高性能多核種除去設備処理済水移送配管と増設多核種除去設備処理済水移送配管をポリエチレン管で接続する計画であるが、K2タンクエリア周りの配管においては、接続が可能な既設処理済水移送配管の仕切弁は閉止されており、移送配管の追設工事は行われていなかった。（写真1）



（写真1）

既設処理済水移送配管の仕切弁の状況（K2タンクエリア北東側）

5 プラント関連パラメータ等の確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。